

## 産業構造審議会 産業技術環境分科会 基準認証小委員会（第1回）-議事要旨

日時：平成29年5月30日（火曜日）10時～12時

場所：経済産業省別館9階 別館944共用会議室

### 出席者

浅見委員、天野委員、有田委員、金森委員、君嶋委員、堤委員、長田委員、日高委員、三上委員、持丸委員、山中委員、米岡委員、大橋氏（安藤委員代理）、長谷川氏（坂本委員代理）

### 議題

1. 産業構造審議会産業技術環境分科会基準認証小委員会の開催趣旨等について
2. 新たな基準認証の在り方について

### 議事概要

冒頭、末松産業技術環境局長からの挨拶、事務局からの委員の紹介の後、委員長を選任が行われ、日高委員が委員長に選任された。

議題1について、資料2-1及び2-2に基づき、事務局から説明し、委員の意見を求めたところ、議事の取扱いを原則公開とするなど原案どおり了承された。

続いて議題2について、資料3に沿って事務局から説明し、委員の意見を求めたところ、主な意見は以下のとおり。

### 標準化の在り方について

- 標準は作ればよいというものではなく、日本全体のビジネスモデルにどう結びつけていくのが重要。各省にもまたがる話であり、経産省に中心的役割を担って欲しい。
- 標準化だけでは効果が出ない。研究開発や規制、認証との相互作用が増大する中、世界に打って出るためにも技術開発も含めた標準化体制の強化が重要。
- 事業戦略を考え、研究開発と標準化を一体として初期段階から標準化を念頭に置くことが重要。
- 特許だけでなく、実用化とビジネスモデルの形成が重要。標準・認証の過程でも日本が積極的に関与できるよう、学際的、業際的な体制を考えていく必要がある。
- 国立研究開発機関の多くは、標準化意識が薄い。予算をつける際に考慮すべき。
- 規制緩和の中で、消費者の安全確保の観点から標準は重要。
- 標準化において消費者を代表して参加する仕組みを検討して欲しい。
- JISC（日本工業標準調査会）と日本規格協会の役割を明確にした上で、BSI（英国規格協会）のように日本規格協会の体制を強化すべき。

### 標準化のプロセスについて

- 標準が調達基準や規制に採用されるのに10年かかるケースがある。
- 運用も含めて標準化の迅速化はできるだけ早く実現して欲しい。

### サービス分野への対応について

- サービス分野については、JISが対応していないので、日本からの国際標準提案においても、国際提案に対する国内対応についてもうまく進まない。

- サービス分野については担当省庁を超える仕組み作りが必要。
- サービスの海外展開において、品質確保、低価格競争を回避する観点から国際標準化を考えたが、現行JISでは対応できなかったため、BSI（英国規格協会）に依頼した。
- 電機メーカーにとってもビジネスのサービス化が重要と認識しており、JISがサービスに拡大することは賛成。
- サービス分野に広げるならJISのIを除くのも一案。

---

## 企業における標準化活動について

---

- モノの安全性の標準化などは、デジュール標準を通じた古典的アプローチだったが、フォーラム／コンソーシアム標準は、ビジネスフレームワークの標準。後者は先行参加にメリットがあり、両者を上手く使い分けたい。
- 海外に進出すると欧米の規格が既に植民地市場に定着しており、自社の品質が良くても苦勞する。
- 自動車業界にとっては、大震災が転機となって各社の仕様の違いが課題となり、また様々につながる電気自動車の到来など、標準の重要性を認識している。
- 国際標準は世界中で展開され、人の時間と費用がとられる。企業トップのコミットメントが重要で、国から経営者に対しアプローチがあってもよいのではないかと。
- 国際会議で蚊帳の外に置かれないように対応するには、日本人に限らない自社以外の専門家の活用も選択肢。中堅・中小企業にはこうした専門家派遣も有効ではないか。

---

## 認証について

---

- 欧州は認証をビジネスとして捉えているが、日本ではそう捉えられていない。
- 認証機関は財団法人が多く、赤字にならないければよいということで運営されている。抜本的な仕掛けが必要。
- 規格開発に認証機関がもっと関与すべき。
- 欧米では、技術者協会が規格を作り、認証機関が認証し、保険会社が付保する、という仕組みが昔から確立。日本でも保険会社等の民間主体が標準化に関わる必要がある。

## 関連リンク

[産業構造審議会 産業技術環境分科会 基準認証小委員会の開催状況](#)

## お問合せ先

産業技術環境局 基準認証政策課  
電話：03-3501-9232  
FAX：03-3580-1418

---

最終更新日：2017年6月1日